

新聞・雑誌から見る現代日本

しんぶん ざっし み げん だい にほん

第17回

だい かい

結婚難時代 —男女の条件闘争に—

けっこん なん じ だい だん じょ じょうけん とうそう

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情を紹介するとともに、日本語を教える先生方が、新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、中・上級の日本語の授業にどう活用できるかを提案していきます。今回は「結婚」に関する記事を中心に上げますが、実際の教室活動の流れにそって質問と記事を示しました。

「読む前に」と<キーワード>の部分は、いきなり記事を読むのではなく、記事に関する背景知識を整理して、読む準備をすることを目的にしています。「読む前に」の質問は、学習者が話題に関してどんな情報やイメージを持っているかを引き出したり、記事の内容を予測したりすることで、記事を読む意欲を高めることを狙っています。「読んだ後で」の質問は、学習者が記事を読んで自分の頭の中に作り上げたイメージを表現させたり、記事への反応を他の学習者と交換させることを目的にしています。

読む前に

よ まえ

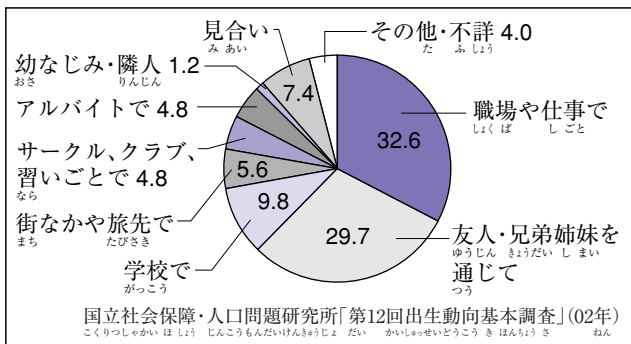
日本では以前はお見合い結婚が一般的だと言われていましたが、近年はお見合い結婚をするケースがだんだん減ってきています。70年前には7割程度が見合い結婚でしたが、2002年の調査では見合い結婚は7.4%しかありません。そのかわり職場や仕事で知り合ったり、友達や兄弟姉妹を通じて知り合ったりするケースが多くを占めています(表1参照)。

以前に比べると、日本人の結婚する人の割合が年々下がってきていて、独身の人が増えています。結婚する人も減っていますが、子供を産む数も減少しています。1970年は一人の女性が2.13人の子供を産んでいましたが、2002年はわずか1.32人です。このままでは日本の人口はますます減ってしまうので、少子化が問題になっています。結婚したい人のための結婚相談所や情報センターなどもだんだん増えています。

皆さんの国の結婚に関する状況はどうでしょうか。

日本と比べてみたりして話し合ってみましょう。

【表1】夫婦が出会ったきっかけ(数字は%)



<キーワード> 理想、現実、条件、妥協、
専業主婦、条件闘争

質問1: あなたが、結婚のとき、相手に求める条件は

何ですか。

質問2: あなたの国では、結婚相手はどうやって探しますか。(どうやって知り合いますか)。

質問3: 30年ほど前と今では結婚相手の一般的な条件は変わってきていると思いますか。

「お見合い20回、最優先は顔」「学歴は譲れない」…理想と現実 大きなずれ

結婚難時代

なぜ一人のでも一人

■ 3 ■

男女の条件闘争に

- ① 広島県内のスーパーに勤める佐々木さん(34)「年収は「30歳までに結婚する。定年までは子供を大学まで出してやる」といふ」といふ。
- ② 会社近くのパークのコーポに一人暮らし。勤続13年目で年収600万円。合コンや飲み会に積極的に顔を出し、理想の相手を探している。20回以上お見合いもしたが、4年前を最後に女性との付き合いはない。
- ③ 「実はかなりの面食い。自分の標準以下の女性とはお付き合いにならない。お見合いの8割はそこから断った」
- ④ 大きくは「お見合い」目、美顔の合コン口元が好み。最優先は顔と断言しつつ、次々条件が出てくる。政府が合コン、明るくて口が過ぎない程度に会話ができるか。「男に合わせるだけでなく、自分の意見を言える人でないと物足りない」
- ⑤ 仕事をこころを要する
- 女性は物事をすぐに投げ出す感じがする。腹は派手すぎず、地味でもどっさりよく働くことしてほしい。料理は手ももいだが次第にうまくなっていく。洗濯と掃除はきちんとしてほしい。
- ⑥ 「子供が生まれるまでは働いてもらいたい。出産後は子供の世話をやんとしてほしい。男は外で仕事をしているから、子供の大切な時期に母親がそばにいてもらえない」と
- ⑦ 相手に求める条件が男で、また現実とも大きくずれている。ある結婚情報サービス会社によると、男性の新規入会者で最も多い年収層は300万円〜400万円。5年前は比べて100万円〜200万円だった。逆に女性が望む男性の年収は600万円〜700万円であまり変わらない。
- ⑧ 男性が女性に求める条件は①年収②学歴③仕事をしていること



「そろそろ結婚情報会社に登録しようかな」。最近そう思うことあると話す玲子さん(東京都内で)

と。女性は①年収②学歴③学歴④学歴⑤学歴⑥学歴⑦学歴⑧学歴⑨学歴⑩学歴⑪学歴⑫学歴⑬学歴⑭学歴⑮学歴⑯学歴⑰学歴⑱学歴⑲学歴⑳学歴㉑学歴㉒学歴㉓学歴㉔学歴㉕学歴㉖学歴㉗学歴㉘学歴㉙学歴㉚学歴㉛学歴㉜学歴㉝学歴㉞学歴㉟学歴㊱学歴㊲学歴㊳学歴㊴学歴㊵学歴㊶学歴㊷学歴㊸学歴㊹学歴㊺学歴㊻学歴㊼学歴㊽学歴㊾学歴㊿学歴

⑨ 松理土の父、専業主婦の母の生まれた家庭に育った。母は専業主婦、会社員として働いている。時給1870円、年収300万円。今も東京に住む。家にお金は入れないが、趣味のバレーには出費を惜しまない。

⑩ 会社に100名以上入っている。どこかで妥協しないと結婚できない。結婚しても仕事は続けたい。『いや、それは分かってはいるんですよ。ひょっとすると夫と結婚したいと思っていないのかも。今は給料も仕事以外の時間も、自分のために使えます。でもずっと結婚はありえない。結婚はしただけ、相手が現れるのかどうか、これはかなり縁です。』

⑪ 東京都内の派遣社員、玲子さん(28)「年収」が求める理想の男性像は「学歴は譲れない。絶対大卒。名前が知られた会社に勤め、仕事ができる人。仕事ができないと出世できない尊敬できない。笑いのツボが合っていない。知能で

⑫ 日本青年館(東京)結婚相談所長の坂本洋子さん(55)は20年以上、結婚を求める男女の相談にのってきた。「結婚がシリアスな条件闘争になっている。でもお見合い合入はめったにない。誰もが理解してほしい。『受け止めてほしい』と自分の事情を優先させる。百人百様の理想をすり合わせるの難しい。』

⑬ 玲子さんは、バリバリのキャリアにはなれない

ことを重視している。今の生活レベルを維持するために、いい旦那様を嫁す必要がある。⑭ 合コンにために顔を出す。いい旦那様はいるが、高卒だと自分と趣味を笑う。逆に理想に近い相手には選んでもらえない。最近出会いが減ってきている。

⑮ 「うちの父親、やばいかな。お嫁はお金とやらに引き寄せられている。その前に絶対相手を探したい。『いい人見つけたよ』『ええ、どうも』いわねえ』と女は口を悪くしている。無理がある」

【日経新聞、写真】

―今回は6日に掲載します。

快適な居場所を…

女の「新専業主婦志向」に男は気づかず

読んだ後で

よ あと

質問4：俊夫さんと玲子さんについて (1) 年齢、(2) 仕事、(3) 年収、(4) 相手への条件でもっとも重視していること、(5) 相手を探すためにしていること、を表にまとめなさい。

質問5：俊夫さんと玲子さんが結婚していない理由をあなたは何だと考えますか。

質問6：第7～8段落（結婚情報サービス会社などの情報）を読んで、結婚難の理由を述べなさい。

質問7：第15段落（結婚相談所長の情報）を読んで、結婚難の理由を述べなさい。

質問8：お見合い時代と違って、なぜ今結婚は男女の条件闘争になっているのかあなたの考えを述べなさい。

質問9：次のことばの意味を内容にそってわかりやすく説明しなさい。

- ① 面食い（第3段落）
- ② ずっと独身はありえない（第10段落）
- ③ 学歴はゆずれない（第12段落）
- ④ 行き遅れ（第18段落）
- ⑤ バリバリのキャリア（第16段落）

【発展練習】あなたが俊夫さんや玲子さんの友人・親・兄弟だったらどのようにアドバイスしますか。ロールプレイしてみよう。

<解答例>

質問4：

	年齢	仕事	年収	相手への条件でもっとも重視していること	理想の相手を探すためにしていること
俊夫さん	34歳	広島県内のメーカー勤務	500万円	容姿 「最優先は顔」	合コンや飲み会に積極的に顔を出している。お見合いも20回以上した。
玲子さん	28歳	東京都内の派遣社員	300万円	学歴 「学歴は譲れない」	合コンにまめに顔を出す。

質問5：条件が多すぎるから、自分の自由な時間が大切だから、今の生活レベルを維持したいから、など。

質問6：情報サービス会社に申し込む人の多くは、共働きを望む男性と専業主婦を望む女性だから。

女性が望む男性の年収と現実とずれがあるから。

年収の低い男性は共働きを望み、専業主婦を望む女性とは合わない。仕事を続けたい女性と専業主婦を望む男性とは合わない。つまり、相手に求める条件が現実と合わず、また男女間の条件もずれているから、など。

質問7：誰もが自分の事情を優先しているから、など。

質問8：見合い結婚の場合は、紹介者が希望の条件に合う人を絞ってくれた上でお見合いができた。今は、自分自身で条件を提示して相手を絞らないといけなく、つまり、条件を自分で口にしないといけなく。

見合い結婚の時代は女性の勤め先が少なく、結婚＝永久就職と言われたくらい、女性が食べていくための最も一般的な選択肢だったが、現在は選択肢が多いのでより相手の条件に厳しくなっているから、など。

質問9：①顔立ちの美しい人（男女）を好むこと。

②ずっと独身でいる可能性はない。

③（大学卒以上の）学歴が不可欠の条件である。

④嫁に行き遅れた人、つまり、結婚の適齢期を過ぎた人、以前は女性のみに使われることが多かったが今では男性にも使うようである。売れ残りもほぼ同じ意味。

⑤バリバリ働いているキャリア・ウーマン。熟達した知識や技術をもち、補助的ではない仕事についている女性で次から次に仕事をやり遂げていく人。

※結婚の問題に関しては多様な意見があると思います。解答例を一つのきっかけとして、クラス内で活発な意見交換ができるように、授業を進めてください。

今回取り上げたテーマや練習案についてのご意見をお待ちしています。また、今回の記事を使って授業をしたときの様子や結果などを編集部までお寄せください。このコーナーの担当：柴原智代、北村武士（日本語国際センター専任講師）